

みえじびか

みみより

新聞



NO.32 令和元年5月

発行：三重耳鼻咽喉科

津市観音寺町 445-15

Tel:059-228-0100 Fax:059-228-0133

ホームページ：<http://www.miejibika.com/>

＜受付システムが変わります＞

予約が取れないので受診が遅れた、予約が取れないと待ち時間が長くなる、早く来ても予約の人に抜かされる、いつ呼ばれるか分からない、長時間病院に拘束される・・・などといった、従来のシステムの問題点を改善するために、2019年7月より新しい受付システムを導入することに致しました。

日時の予約をするのではなく、当日「順番の受付」をして頂き、順番通りに診察をさせて頂くシステムです。インターネットで受付が出来ますので、早くご来院頂いて診察券を置きに来るといった手間がなくなります。小さいお子様のいらっしゃるご家庭や、足のご不自由な方、仕事でお忙しい方も、来院せずに順番を取ることが出来るので便利です。順番も携帯電話で確認できますので、順番の少し前に来院頂ければ、院内での待ち時間も少なくなります。院内でお待ち頂く場合でも、ご自分の順番が分かるので安心です。

インターネットが苦手な方は、これまで通り直接ご来院頂いても順番を取ることが出来ます。投薬をご希望の方も、これまで通り電話でご連絡頂き、ご来院ください。順番は取らなくて大丈夫です。

＜花粉の大飛散！！＞

今年はスギ花粉・ヒノキ花粉ともに平年の3倍飛散しました。2月末から3月上旬のスギ花粉ピーク時や、桜が咲いた後のヒノキ花粉ピーク時は、強い症状で受診された方が多かったです。特に、ヒノキ花粉は喉の痛みや咳、頭痛、だるさなどの風邪のような症状が出る方もあり、迷われたかもしれません。ゴールデンウィークが終わり、すっかり症状も治まられたことでしょう。



スギ花粉の症状が良かった方々にお勧めしたのが、「舌下免疫療法」です。これは、スギ花粉のエキス剤を舌の下に1分ほど保持し、飲み込むという治療法で、4、5年の歳月がかかりますが、徐々に体がスギ花粉に対してアレルギー反応を起こしにくくなります。今後従来の液体製剤（シダトレン）が発売されなくなり、この5月から錠剤タイプ（シダキュア）が1ヶ月処方可能となります。錠剤の方が舌下に保持する時間が短い、持ち歩きしやすい、抗原量（スギのエキス量）が多いので効果がより期待できる・・・などとい

ったメリットがあります。これまで液体製剤を服用していた方々も、錠剤タイプに変更できますのでお申し出ください。

（液体製剤もしばらく販売されていますので、すぐに変更しなくても大丈夫です）



## <「舌がん」の心配>



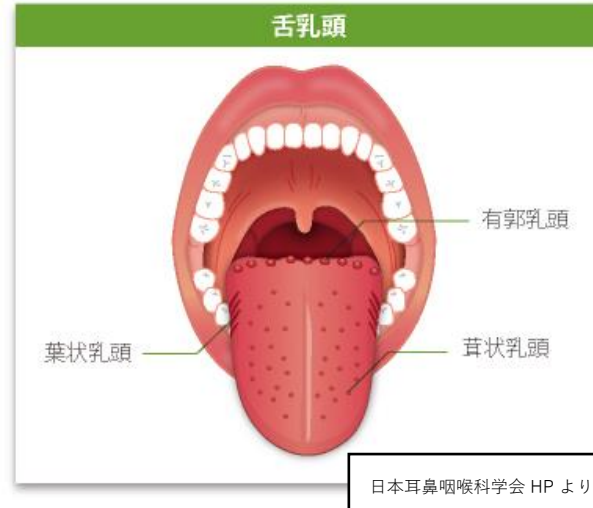
有名な女性タレントが舌がんを公表してから、舌がんを心配して受診される方が非常に増えました。最近のがんのステージ（進行度）や治療法、治療中の症状や患者の様子まで、詳しくネットで公開されていますので、心配になる方が増えるのも無理はありません。しかしなが

ら、過度な心配をして、何も手につかない・・・といったことになるのはよくないですので、どんな病気かを知って頂き、ご参考になさってください。

「舌がん」は、口腔がんという口の中に出来る癌の一種です。一般的には高齢者に多く、危険因子と言われるものとして、「喫煙、飲酒、慢性刺激（う歯や傾斜歯、義歯の不適合など）」があります。代表的な症状は、「腫瘍（はれもの）、痛み、出血」です。舌に限らず、頬の裏の粘膜や歯ぐき、上あご、舌の下などにも同じようなできものが出来ることがあります。口内炎のような凹みや、少し硬いできもの、それらが痛みを伴い、治らない場合は要注意です。1～2週間経っても治らない場合は一度受診をお願いいたします。診察上、舌がんや他の腫瘍性病変を疑う場合は、大学病院へ紹介し、精密検査を依頼させていただきます。

前がん病変と言われる病態に「白板症（はくばんしょう）」「紅板症（こうばんしょう）」というものがあります。これらの病変を持つ人は、正常な人に比べると36倍癌になりやすいという報告もあるようです。特に白板症はよく見られる病変で、舌がん同様、喫煙者や慢性刺激が原因となることが多いです。禁煙や歯科治療で自然治癒するケースもありますが、治りが悪い場合はやはり生検（一部

組織を取って顕微鏡で検査をする：大学病院へ紹介しています）をお勧めします。



実は、舌にはもともと「舌乳頭（ぜつにゅうとう）」というボコボコした隆起があります。味覚に関わる働きをしていることがおおいですが、「舌がんが舌縁にできやすい」という情報から、舌乳頭の中でも特に舌縁の奥の

方にある「葉状乳頭（ようじょうにゅうとう）」を「舌がんではないか??」と心配してご来院頂く方が多くいらっしゃいます。どなたにでもある組織ですので、がんではありません。それでも心配な方は、家族や友人と見比べてみてくださいね。

## <5月23日、24日は小児耳鼻咽喉科学会に出席します>

毎年恒例になりましたが、日本小児耳鼻咽喉科学会・学術講演会（福岡）に参加して参ります。今年は、三重県内の保健師さんを対象に「小児の気道異物」についてアンケート調査を実施した結果を報告してきます。院内でおなじみの「つぶっこちゃん」を作成する前に、本当に絵本での啓発が適しているかを検証したくて行った調査です。多くの先生方がたくさんの発表をされますので、色々勉強をしてきます。学会情報は次回のみみより新聞でお伝えいたします！

